

hinoko

Lectura en japonés N5: 15 historias cortas con preguntas

Historias en japonés escritas para el JLPT N5, con furigana, preguntas de comprensión, respuestas y traducciones.

1. Lee cada texto primero sin la traducción. Cada kanji tiene sus furigana.
2. Responde a las preguntas y comprueba las respuestas al final del cuadernillo.
3. Lee la traducción al final, para ver qué has entendido.

Gratis: imprímelo y compártelo. www.hinoko-japanese.com

Test de lectura con el formato del JLPT

TEXTO 1

マリアさんから ゆうこさんへの メモです。

ゆうこさんへ

あしたの パーティーは 六時(ろくじ)からです。

わたしは 五時(ごじ)に えきの 前(まえ)で まって います。いっしょに 行(い)きましょう。

ケーキは わたしが かいます。ゆうこさんは のみものを かって きて ください。

マリア

1. ゆうこさんは あした 何(なに)を しますか。

1 六時(ろくじ)に えきの 前(まえ)で マリアさんを まちます。

2 ケーキを かって、パーティーに 行(い)きます。

3 のみものを かって、五時(ごじ)に えきの 前(まえ)へ 行(い)きます。

4 マリアさんと いっしょに ケーキを かいます。

TEXTO 2

リーさんが 書いた さくぶんです。

わたしは 先月、日本に 来ました。いまは 大学の ちかくの アパートに すんで います。

きのうは 日よう日でした。あさ、となりの へやの 山下さんと 川の そばを さんぽしました。川の 水は とても きれいでした。

ひるごはんは 山下さんの へやで 食べました。山下さんが カレーを つくりました。すこし からかったですが、おいしかったです。

午後は 一人で 本やへ 行って、日本語の 本を 二さつ かいました。こんばんから 毎日 すこしずつ 読みます。

2. リーさんは きのうの 午後、何を しましたか。

1 一人で 本を かいに 行きました。

2 山下さんの へやで カレーを 食べました。

3 山下さんと さんぽしました。

4 日本語の 本を 二さつ 読みました。

3. 山下さんの カレーは どうでしたか。

1 あまり からくなかったです。

2 からかったので、食べませんでした。

3 からくなかったですが、あまり おいしくなかったです。

4 すこし からかったですが、おいしかったです。

Historias

HISTORIA 1

小さな 友だち

Un pequeño amigo

ひのこは 小さくて あおいです。 山の 上の 小さい いえに 一人で すんでいます。

ひのこは 本が 大すきです。 毎日、まどの そばで 本を 読みます。

でも、雨は きらいです。

今日は あさから 雨が ふっています。 外は くらくて、さむいです。

ひのこは いえの 中で 本を 読んでいます。

「すみません……」

ドアの 外に だれか います。 ひのこは ドアを あけます。 小さくて 白い ねこです。 ねこの からだは とても つめたいです。

ねこは 小さい こえで いいます。「さむいです……」

「どうぞ、入って ください」

ひのこの ちかくは あたたかいです。 ねこは そこで すこし ねます。

それから、ねこは あたたかい おちゃを のみます。

「ありがとう。また 来ても いいですか」「はい、また 来て ください」

ひのこは 雨が きらいでした。 でも、今日の 雨は すこし すきです。

Preguntas

1. ひのこは 何(なに)が きらいでしたか。

¿Qué no le gustaba a Hinoko?

1 本(ほん)

2 雨(あめ)

3 ねこ

4 おちゃ

2. ドアの 外(そと)に だれが いましたか。

¿Quién estaba al otro lado de la puerta?

1 白(しろ)い ねこ

2 白(しろ)い いぬ

3 あおい ねこ

4 女(おんな)の子(こ)

3. ねこは ひのこの いえで 何(なに)を しましたか。

¿Qué hizo el gato en casa de Hinoko?

1 本(ほん)を 読(よ)みました。

2 山(やま)へ 行(い)きました。

3 雨(あめ)の 中(なか)で あそびました。

4 おちゃを のみました。

HISTORIA 2

コンビニの おにぎり

El onigiri del konbini

けんは まいあさ、えきの ちかくの コンビニで おにぎりを 一(ひと)つ
かいます。 今日(きょう)は、おにぎりが あと 一(ひと)つです。
となりで、小(ちい)さい おばあさんも その おにぎりを 見(み)ています。「どうぞ」
けんは おばあさんに おにぎりを わたします。「どうも
ありがとう」 今日(きょう)の あさごはんは パンです。
つぎの あさ、コンビニの やまださんが けんに 小(ちい)さい ふくろを
わたします。「これ、母(はは)からです」 ふくろの 中(なか)には、大(おお)きい
おにぎりが 二(ふた)つと、てがみが あります。「きのうは ありがとう」

Preguntas

1. けんの 今日(きょう)の あさごはんは 何(なん)ですか。

¿Qué desayuna Ken hoy?

1 おにぎり
2 パン
3 おかし
4 ラーメン

2. やまださんの ふくろの 中(なか)に 何(なに)が ありますか。

¿Qué hay en la bolsa de Yamada-san?

1 大(おお)きい おにぎりと てがみ
2 大(おお)きい パンと てがみ
3 小(ちい)さい おにぎりと パン
4 大(おお)きい おにぎりと パン

3. 小(ちい)さい おばあさんは だれですか。

¿Quién es la ancianita?

1 けんの お母(かあ)さん
2 やまださんの おばあさん
3 やまださんの お母(かあ)さん
4 けんの おばあさん

HISTORIA 3

にちようびの 学校

Un domingo en la escuela

けんは ベッドで とけいを 見ました。 もう 八時でした！

けんは えきへ はしりました。 でも、けんの めの 前で、電車の ドアが しまりました。 つぎの 電車で 学校へ 行きました。

学校は とても しずかでした。 もんの 上に くろい ねこが いました。

「ねこさん、学校は 休みですか」

けんは スマホを 見ました。 今日は にちようびでした！

いえで、けんは あさごはんを たくさん 食べました。 そして、十時に また ねました。

Preguntas

1. もんの 上に 何が いましたか。

¿Qué había encima del portón?

1 くろい いぬ
2 くろい ねこ
3 白い ねこ
4 白い いぬ

2. けんは 学校へ どうやって 行きましたか。

¿Cómo fue Ken a la escuela?

1 バスで
2 車で
3 電車で
4 じてんしゃで

3. けんは 何時に また ねましたか。

¿A qué hora volvió a acostarse Ken?

1 八時
2 十時
3 十一時
4 十二時

HISTORIA 4

えきの でぐち

La salida de la estación

エマは とうきょうの 大(おお)きい えきに いました。 でぐちが たくさん ありました。 でも、北(きた)ぐちは 分(わ)かりませんでした。

となりに 小(ちい)さい 男(おとこ)の子(こ)が いました。「すみません。北(きた)ぐちは どこですか」 男(おとこ)の子(こ)は 小(ちい)さい こえで いいました。

「分(わ)かりません……。お母(かあ)さんは 北(きた)ぐちに います」

「じゃあ、いっしょに 行(い)きましょう」

東(ひがし)ぐち、西(にし)ぐち、南(みなみ)ぐち……。 そして、北(きた)ぐちに お母(かあ)さんが いました。

男(おとこ)の子(こ)は 大(おお)きい こえで いいました。「おねえさん、北(きた)ぐちは ここですよ！」

Preguntas

1. エマは だれに 聞(き)きましたか。

¿A quién le preguntó Emma el camino?

1 小(ちい)さい 女(おんな)の子(こ)

2 男(おとこ)の子(こ)の お母(かあ)さん

3 小(ちい)さい 男(おとこ)の子(こ)

4 大(おお)きい 男(おとこ)の子(こ)

2. 男(おとこ)の子(こ)の お母(かあ)さんは どこに いましたか。

¿Dónde estaba la madre del niño?

1 北(きた)ぐち

2 南(みなみ)ぐち

3 東(ひがし)ぐち

4 西(にし)ぐち

3. エマは どこに いましたか。

¿Dónde estaba Emma?

1 きょうとの 大(おお)きい えき

2 とうきょうの 小(ちい)さい えき

3 きょうとの 小(ちい)さい えき

4 とうきょうの 大(おお)きい えき

HISTORIA 5

お父さんの カレー

El curry de papá

にちようびの ばん、お父さんが だいどころに います。 はじめて カレーを つくります。

「いただきます！」 お父さんの カレーは、とても からいです。

お母さんと ゆいは 水を たくさん のみます。

ゆいの おとうとの そらは、まだ 六さいです。 でも、カレーを ぜんぶ 食べます。「おいしい！カレーを もっと ください！」

つぎの にちようび、そらは お父さんに いいます。「また カレーを つくって ください。もっと からい カレーが いい！」 お母さんと ゆいは 大きい コップに 水を 入れます。

Preguntas

1. だれが 水を たくさん のみますか。

¿Quién bebe mucha agua?

1 お父さんと そら
2 お父さんと お母さん
3 ゆいと そら
4 お母さんと ゆい

2. そらは 何さいですか。

¿Cuántos años tiene Sora?

1 三さい
2 五さい
3 六さい
4 九さい

3. つぎの にちようび、そらは お父さんに 何を いいますか。

El domingo siguiente, ¿qué le dice Sora a papá?

1 「もっと からい カレーが いい」
2 「もっと あまい カレーが いい」
3 「もっと 大きい コップが いい」
4 「もっと つめたい 水が いい」

HISTORIA 6

ゆうめいな ラーメン

Un ramen famoso

休みの日、エマと けんは ゆうめいな ラーメンの みせへ 行きました。

みせの 前には 人が たくさん ならんでいました。 二人も 一時間 ならびました。

でも、ドアの 前で、みせの 人が いいました。「すみません。今日は もう スープが ありません」

エマは となりの 小さくて ふるい みせを 見ました。「あの みせに 入りましょう」

小さい みせには、おきゃくさんが いませんでした。「おいしい！」

けんは 二はい 食べました。

つぎの 休みの日、二人は また 小さい みせへ 行きました。 でも、小さい みせの 前にも 人が たくさん ならんでいました。「また 一時間ですね」

Preguntas

1. 二人(ふたり)は ゆうめいな みせの 前(まえ)で 何時間(なんじかん) ならびましたか。

¿Cuántas horas hicieron fila delante del restaurante famoso?

1 一時間(いちじかん)　　**2** 二時間(にじかん)

3 五時間(ごじかん)　　**4** 十時間(じゅうじかん)

2. 二人(ふたり)は どこで ラーメンを 食(た)べましたか。

¿Dónde comieron ramen?

1 ゆうめいな みせで　　**2** 小(ちい)さい みせで

3 えきの 前(まえ)で　　**4** けんの うちで

3. つぎの 休(やす)みの日(ひ)、小(ちい)さい みせの 前(まえ)は どうでしたか。

El siguiente día libre, ¿qué pasaba delante del restaurante pequeño?

1 人(ひと)が たくさん いました。　　**2** 人(ひと)が いませんでした。

3 人(ひと)が すこし いました。　　**4** みせが 休(やす)みでした。

HISTORIA 7

シロの はな

La flor de Shiro

白(しろ)い ねこの シロは、毎日(まいにち) ひのこの いえに 来(き)ます。 今日(きょう)は、シロの くちに はなが あります。 小(ちい)さくて あおい はなです。

シロは ひのこの 前(まえ)に はなを おきます。「どうぞ」

「わあ、きれい！ありがとう、シロ。水(みず)に 入(い)れましょう」

でも、水(みず)は ひのこには あぶないです。 シロが コップに 水(みず)を 入(い)れます。

そして、はなを コップに 入(い)れます。

「シロは あおい はなが すきですか」「はい、大(だい)すきです。ひのこと おなじ いろです」

Preguntas

1. シロは ひのこの 前(まえ)に 何(なに)を おきますか。

¿Qué deja Shiro delante de Hinoko?

1 白(しろ)い はな
2 あおい はな
3 あおい コップ
4 白(しろ)い コップ

2. ひのこには 何(なに)が あぶないですか。

¿Qué es peligroso para Hinoko?

1 コップ
2 はな
3 シロ
4 水(みず)

3. シロは どうして あおい はなが 大(だい)すきですか。

¿Por qué a Shiro le encantan las flores azules?

1 ひのこと おなじ いろですから。
2 水(みず)と おなじ いろですから。
3 シロと おなじ いろですから。
4 コップと おなじ いろですから。

HISTORIA 8

ねこの きって

Sellos de gatos

ゆいは とおい ひろしまの おばあさんに てがみを 書(か)きました。

それから、ゆうびんきょくへ てがみを 出(だ)しに 行(い)きました。

ゆうびんきょくには、ねこの きってと、いぬの きってが ありました。

ゆいは ねこの きってを 十(じゅう)まい かって、ぜんぶ ふうとうに はりました。

ゆうびんきょくの 人(ひと)は その ふうとうを 見(み)て、いいました。「ねこが たくさん いますね」「はい。そぼは ねこが 大(だい)すきですから」

十日(とおか) あとに、ひろしまの おばあさんから てがみが 来(き)ました。

ふうとうには、いぬの きってが 十(じゅう)まい ありました。 ゆいは いぬが 大(だい)すきです。 おばあさんは それを よく しっています。

Preguntas

1. おばあさんの てがみは いつ 来(き)ましたか。

¿Cuándo llegó la carta de la abuela?

1 三日(みっか) あと
2 五日(いつか) あと
3 七日(なのか) あと
4 十日(とおか) あと

2. ゆいは ふうとうに きってを 何(なん)まい はりましたか。

¿Cuántos sellos pegó Yui en el sobre?

1 一(いち)まい
2 二(に)まい
3 五(ご)まい
4 十(じゅう)まい

3. おばあさんの ふうとうには、何(なん)の きってが ありましたか。

¿Qué sellos había en el sobre de la abuela?

1 いぬの きって
2 ねこの きって
3 とりの きって
4 はなの きって

HISTORIA 9

マリアの え

El dibujo de Maria

ゆいの クラスに、あたらしい せいとが 来(き)ました。

「マリアです。ブラジルから 来(き)ました。よろしく おねがいします」

マリアは しずかで、あまり 話(はな)しませんでした。 ひるごはんも いつも 一人(ひとり)で 食(た)べていました。

えいごの じゅぎょうで、マリアは ノートに えを かいていました。 先生(せんせい)が マリアの つくえの 前(まえ)で とまりました。 ノートには、先生(せんせい)の かおの えが ありました。 クラスの みんなが 先生(せんせい)を 見(み)ていました。

「これは わたしですか」「はい……すみません」 先生(せんせい)は えを よく 見(み)て、いいました。「とても じょうずですね！クラスの みんなの かおも かきませんか」

その ひるやすみ、マリアの つくえの 前(まえ)に、みんなが ならんでいました。

マリアの ひるごはんは、とても にぎやかでした。

Preguntas

1. マリアは どこから 来(き)ましたか。

¿De dónde viene Maria?

1 ベトナム

2 タイ

3 ブラジル

4 フィリピン

2. マリアは ノートに 何(なに)を かいていましたか。

¿Qué dibujaba Maria en su cuaderno?

1 ゆいの かお

2 先生(せんせい)の かお

3 じぶんの かお

4 ねこの かお

3. ひるやすみに、だれが マリアの つくえの 前(まえ)に ならんでいましたか。

A la hora del almuerzo, ¿quién hacía fila delante del pupitre de Maria?

1 ゆい 一人(ひとり)

2 男(おとこ)の子(こ) 二人(ふたり)

3 女(おんな)の子(こ) 二人(ふたり)

4 クラスの みんな

HISTORIA 10

うみへ 行く バス

El autobús que va al mar

けんは はいしゃが きらいです。 今日は バスに のって、はいしゃへ 行きます。 でも、それは ちがう バスです。 けんは スマホで ゲームを しています。

「つぎは しゅうてんです」 けんは まどの 外を 見ます。「……うみ？」

けんは バスを おりて、うみの 前に たちます。 うみは あおくて、とても きれいです。 かぜも すずしいです。 けんは しゃしんを とって、お母さんに メールします。

すぐに お母さんから メールが 来ます。「はいしゃは？」「……あしたに します」

Preguntas

1. けんは バスの 中で 何を していますか。

¿Qué hace Ken en el autobús?

1 おかしを 食べています

2 本を 読んでいます

3 ゲームを しています

4 しゃしんを とっています

2. けんは だれに メールしますか。

¿A quién le manda Ken un mensaje?

1 お父さん

2 ゆい

3 お母さん

4 はいしゃ

3. けんは いつ はいしゃへ 行きますか。

¿Cuándo va a ir Ken al dentista?

1 今日

2 あした

3 あさって

4 らいしゅう

HISTORIA 11

ポチは どこ？

¿Dónde está Pochi?

「ポチ！ポチ！」 ゆいが にわで いぬの ポチを よんでいます。

でも、ポチが いません。

お父(とう)さんと お母(かあ)さんも 来(き)て、みんなで さがします。 いっしょに すんでいる おばあさんは かいものに 行(い)っています。 お父(とう)さんは こうえんへ 行(い)って、そらは ベッドの 下(した)を 見(み)ています。 お母(かあ)さんが いいます。「そら、ポチは 大(おお)きいから、そこには いないよ」 そらは ないています。

ゆうがた、おばあさんが かいものから かえります。「ただいま」

おばあさんの 後(うし)ろに、ポチが います！ 「ポチは スーパーまで いっしょに 来(き)て、みせの 前(まえ)で まっていたよ」

その ばん、そらは ポチの そばで ねます。

Preguntas

1. お父(とう)さんは どこへ 行(い)きますか。

¿Adónde va papá?

1 スーパー
2 こうえん
3 学校(がっこう)
4 えき

2. ゆうがた、だれが かいものから かえりますか。

Al atardecer, ¿quién vuelve de las compras?

1 お父(とう)さん
2 お母(かあ)さん
3 ゆい
4 おばあさん

3. ポチは どこで まっていましたか。

¿Dónde esperaba Pochi?

1 スーパーの 前(まえ)
2 こうえんの 前(まえ)
3 学校(がっこう)の 前(まえ)
4 えきの 前(まえ)

HISTORIA 12

えいがかんで

En el cine

にちようび、けんと エマは えいがを 見(み)に 行(い)きました。

えいがかんで、けんは こわい えいがの チケットを 二(に)まい かいました。

「けんさん、こわい えいがは だいじょうぶですか」

「だいじょうぶ。大(だい)すきだから」

えいがかんの 中(なか)は くらくて、しずかでした。 こわい ところで、エマは

となりの けんを 見(み)ました。 けんは めを とじていました。

「けんさん、めを あけて ください」「あけているよ！」 でも、けんは

はじめから おわりまで、めを あけませんでした。

えいがの あと、けんは 大(おお)きい こえで いいました。「いい

えいがだったね！」「そうですね。けんさんは どこが すきでしたか」

「……らいしゅう、また 見(み)に 行(い)きませんか」

Preguntas

1. けんと エマは いつ えいがを 見(み)に 行(い)きましたか。

¿Cuándo fueron Ken y Emma a ver una película?

1 どようび

2 にちようび

3 げつようび

4 きんようび

2. けんは えいがかんで 何(なに)を していましたか。

¿Qué hacía Ken en el cine?

1 スマホを 見(み)ていました。

2 めを とじていました。

3 本(ほん)を 読(よ)んでいました。

4 えいがを 見(み)ていました。

3. けんは えいがを ぜんぶ 見(み)ましたか。

¿Vio Ken toda la película?

1 ぜんぶ 見(み)ました。

2 半分(はんぶん) 見(み)ました。

3 こわい ところだけ 見(み)ませんでした。

4 何(なに)も 見(み)ませんでした。

HISTORIA 13

ゆきの ねこ

El gato de nieve

今日(きょう)は あさから ゆきが ふっています。 ゆきは ひのこには
あぶないですから、ひのこは 外(そと)に 出(で)ません。

シロは 外(そと)で あそんでいます。 ひのこは まどから 外(そと)を 見(み)ます。

「シロ、どこ？」

白(しろ)い ゆきの 中(なか)に、めが 二(ふた)つ あります。 シロの めです。

シロは まどの 前(まえ)で、小(ちい)さい ゆきの ねこを つくって、ひのこに 見(み)せます。

「かわいい！シロと おなじだね」

それから、シロは いえに 入(はい)ります。 シロの あしは とても つめたいです。

ひのこは その あしを あたためます。

「ゆきの ねこも 中(なか)に 入(い)れる？外(そと)は さむいから」「だめ！ここは
あたたかいから」

Preguntas

1. シロは 外(そと)で 何(なに)を していますか。

¿Qué hace Shiro afuera?

1 ねています。

2 本(ほん)を 読(よ)んでいます。

3 あそんでいます。

4 おちゃを のんでいます。

2. 白(しろ)い ゆきの 中(なか)に 何(なに)が ありますか。

¿Qué hay en la nieve blanca?

1 シロの め

2 ひのこの め

3 小(ちい)さい はな

4 あおい コップ

3. だれが シロの あしを あたためますか。

¿Quién le calienta las patas a Shiro?

1 ゆきの ねこ

2 ひのこ

3 シロ

4 ひのこと シロ

HISTORIA 14

おなじ かさ

El mismo paraguas

あさから 雨(あめ)が ふっていました。 エマは コンビニで かさを かって、きっさてんへ 行(い)きました。 みせに 入(はい)る 前(まえ)に、かさを いりぐちに おきました。 中(なか)で コーヒーを のんで、本(ほん)を 読(よ)みました。

みせを 出(で)る とき、いりぐちには おなじ かさが たくさん ありました。 エマは ちかくに あった かさを とりました。 いえに かえってから、エマは その かさを よく 見(み)ました。 かさには 小(ちい)さい ねこの えが ありました。 エマの かさではありませんでした。

つぎの あさ、エマは その かさを もって、きっさてんへ 行(い)きました。 みせの 前(まえ)で、高校生(こうこうせい)の 女(おんな)の子(こ)が まっていました。「それ、わたしの かさです！これは あなたの かさですか」「はい……たぶん」「コンビニの かさは ぜんぶ おなじですから、えが あった ほうが いいですよ」

それから、二人(ふたり)は 友(とも)だちに なりました。 今(いま)は、エマの かさにも、友(とも)だちが かいた 小(ちい)さい ねこの えが あります。

Preguntas

1. エマは かさを どこに おきましたか。

¿Dónde dejó Emma su paraguas?

1 きっさてんの 中(なか)

2 コンビニの いりぐち

3 きっさてんの いりぐち

4 コンビニの 中(なか)

2. エマが とった かさには、何(なん)の えが ありましたか。

¿Qué dibujo había en el paraguas que tomó Emma?

1 ねこの え

2 いぬの え

3 とりの え

4 はなの え

3. つぎの あさ、みせの 前(まえ)で だれが まっていましたか。

A la mañana siguiente, ¿quién esperaba delante de la cafetería?

1 高校生(こうこうせい)の 男(おとこ)の子(こ)

2 小(ちい)さい 男(おとこ)の子(こ)

3 小(ちい)さい 女(おんな)の子(こ)

4 高校生(こうこうせい)の 女(おんな)の子(こ)

HISTORIA 15

みじかい えんぴつ

El lápiz corto

今日(きょう)は えいごの テストです。 テストの 前(まえ)に、けんは かばんを あけます。

えんぴつが ありません！ 「えんぴつを いえに わすれた……」

となりの ゆいが、けんに とても みじかい えんぴつを かします。

「つぎは、わすれない ほうが いいよ」

テストの とき、けんは えんぴつを 見(み)ます。 えんぴつに ことばが

あります。「がんばって ください」 けんは げんきに なります。

テストが おわってから、けんは ゆいに えんぴつを かえします。

そして、つぎの あさ、あたらしい 長(なが)い えんぴつも わたします。 長(なが)い

えんぴつにも、けんの ことばが あります。「ありがとう。つぎは

わすれないよ」

ゆいは その えんぴつを まだ つかっていません。 その

えんぴつは、今(いま)も 長(なが)いです。

Preguntas

1. けんは えんぴつを どこに わすれましたか。

¿Dónde olvidó Ken sus lápices?

1 けんの いえ

2 ゆいの いえ

3 学校(がっこう)の つくえ

4 電車(でんしゃ)の 中(なか)

2. みじかい えんぴつには、どんな ことばが ありますか。

¿Qué hay escrito en el lápiz corto?

1 がんばって ください

2 つぎは わすれないよ

3 よろしく おねがいします

4 ありがとうございます

3. ゆいは あたらしい 長(なが)い えんぴつを つかっていますか。

¿Usa Yui el lápiz largo nuevo?

1 はい、毎日(まいにち) つかっています。

2 はい、テストで つかいました。

3 いいえ、けんに かえしました。

4 いいえ、まだ つかっていません。

Respuestas

Test de lectura con el formato del JLPT
1. 3 · 2. 1 · 3. 4

Historia 1 (Un pequeño amigo)
1. 2 · 2. 1 · 3. 4

Historia 2 (El onigiri del konbini)
1. 2 · 2. 1 · 3. 3

Historia 3 (Un domingo en la escuela)
1. 2 · 2. 3 · 3. 2

Historia 4 (La salida de la estación)
1. 3 · 2. 1 · 3. 4

Historia 5 (El curry de papá)
1. 4 · 2. 3 · 3. 1

Historia 6 (Un ramen famoso)
1. 1 · 2. 2 · 3. 1

Historia 7 (La flor de Shiro)
1. 2 · 2. 4 · 3. 1

Historia 8 (Sellos de gatos)
1. 4 · 2. 4 · 3. 1

Historia 9 (El dibujo de Maria)
1. 3 · 2. 2 · 3. 4

Historia 10 (El autobús que va al mar)
1. 3 · 2. 3 · 3. 2

Historia 11 (¿Dónde está Pochi?)
1. 2 · 2. 4 · 3. 1

Historia 12 (En el cine)
1. 2 · 2. 2 · 3. 4

Historia 13 (El gato de nieve)
1. 3 · 2. 1 · 3. 2

Historia 14 (El mismo paraguas)
1. 3 · 2. 1 · 3. 4

Historia 15 (El lápiz corto)
1. 1 · 2. 1 · 3. 4

279 historias del N5 al N2, con audio, diccionario en cada palabra y repaso, en la web y en la app hinoko: www.hinoko-japanese.com

Traducciones

Test de lectura con el formato del JLPT, Texto 1

Una nota de Maria para Yuko.

Yuko:

La fiesta de mañana empieza a las seis.

Te espero delante de la estación a las cinco. Vamos juntas.

Yo compro el pastel. Tú compra las bebidas y tráelas, por favor.

Maria

Test de lectura con el formato del JLPT, Texto 2

Una redacción de Li.

Llegué a Japón el mes pasado. Ahora vivo en un apartamento cerca de la universidad.

Ayer fue domingo. Por la mañana di un paseo junto al río con Yamashita, mi vecino de habitación. El agua del río estaba muy limpia.

Comimos en la habitación de Yamashita, que hizo curry. Picaba un poco, pero estaba rico.

Por la tarde fui solo a la librería y compré dos libros en japonés. A partir de esta noche, leeré un poco cada día.

Historia 1: Un pequeño amigo

Hinoko es pequeña y azul. Vive sola en una casita en la montaña.

A Hinoko le encantan los libros. Todos los días lee junto a la ventana. Pero la lluvia no le gusta.

Hoy llueve desde la mañana. Afuera está oscuro y hace frío. Hinoko está leyendo un libro dentro de casa.

«Disculpe…»

Hay alguien al otro lado de la puerta. Hinoko abre la puerta. Es un gatito blanco. El cuerpo del gato está muy frío.

El gato dice con una vocecita: «Tengo frío…»

«Pasa, por favor.»

Cerca de Hinoko se está calentito. El gato duerme un rato ahí. Después, el gato toma un té calentito.

«Gracias. ¿Puedo volver?» «Sí, vuelve cuando quieras.»

A Hinoko no le gustaba la lluvia. Pero la lluvia de hoy le gusta un poco.

Historia 2: El onigiri del konbini

Todas las mañanas, Ken compra un onigiri en el konbini que hay cerca de la estación. Hoy solo queda un onigiri.

A su lado, una ancianita también está mirando ese onigiri. «Para usted.» Ken le da el onigiri a la ancianita. «Muchas gracias.» Hoy el desayuno es pan.

A la mañana siguiente, Yamada-san, del konbini, le da a Ken una bolsita. «Esto es de parte de mi madre.» Dentro de la bolsa hay dos onigiri grandes y una carta. «Gracias por lo de ayer.»

Historia 3: Un domingo en la escuela

En la cama, Ken miró el reloj. ¡Ya eran las ocho!

Ken corrió a la estación. Pero las puertas del tren se cerraron justo delante de él. Fue a la escuela en el siguiente tren.

La escuela estaba muy tranquila. Encima del portón había un gato negro. «Señor gato, ¿no hay clase?»

Ken miró su teléfono. ¡Era domingo!

En casa, Ken desayunó mucho. Después, a las diez, volvió a acostarse.

Historia 4: La salida de la estación

Emma estaba en una gran estación de Tokio. Había muchas salidas. Pero no encontraba la salida norte.

A su lado había un niño pequeño. «Perdón, ¿dónde está la salida norte?» El niño dijo con una vocecita: «No lo sé… Mi mamá está en la salida norte.» «Entonces, vamos juntos.»

La salida este, la salida oeste, la salida sur… Y en la salida norte estaba su mamá.

El niño dijo en voz alta: «¡Señorita, la salida norte es aquí!»

Historia 5: El curry de papá

El domingo por la noche, papá está en la cocina. Está haciendo curry por primera vez.

«¡Buen provecho!» El curry de papá es muy picante. Mamá y Yui beben mucha agua.

Sora, el hermanito de Yui, solo tiene seis años. Pero se come todo el curry. «¡Está delicioso! ¡Más curry, por favor!»

El domingo siguiente, Sora le dice a papá: «Vuelve a hacer curry, por favor. ¡Lo quiero todavía más picante!» Mamá y Yui llenan unos vasos grandes de agua.

Historia 6: Un ramen famoso

Un día libre, Emma y Ken fueron a un famoso restaurante de ramen. Delante del restaurante, mucha gente hacía fila. Los dos también hicieron fila durante una hora.

Pero en la puerta, alguien del restaurante dijo: «Lo siento. Hoy ya no queda caldo.»

Emma miró el pequeño y viejo restaurante de al lado. «Entremos en ese restaurante.»

En el restaurante pequeño no había ningún cliente. «¡Delicioso!» Ken se comió dos tazones.

El siguiente día libre, los dos volvieron al restaurante pequeño. Pero delante del restaurante pequeño también había mucha gente haciendo fila. «Otra hora más, ¿eh?»

Historia 7: La flor de Shiro

Shiro, el gato blanco, viene todos los días a casa de Hinoko. Hoy, Shiro tiene una flor en la boca. Es una flor pequeña y azul.

Shiro deja la flor delante de Hinoko. «Toma.»

«¡Oh, qué bonita! Gracias, Shiro. Pongámosla en agua.»

Pero el agua es peligrosa para Hinoko. Es Shiro quien pone agua en un vaso. Luego pone la flor en el vaso.

«Shiro, ¿te gustan las flores azules?» «Sí, me encantan. Son del mismo color que tú.»

Historia 8: Sellos de gatos

Yui le escribió una carta a su abuela de Hiroshima, que vive lejos. Luego fue a la oficina de correos a enviar la carta. En la oficina de correos había sellos de gatos y sellos de perros. Yui compró diez sellos de gatos y los pegó todos en el sobre.

El empleado de correos miró el sobre y dijo: «¡Cuántos gatos!» «Sí. Es que a mi abuela le encantan los gatos.»

Diez días después, llegó una carta de su abuela de Hiroshima. En el sobre había diez sellos de perros. A Yui le encantan los perros. Su abuela lo sabe bien.

Historia 9: El dibujo de Maria

Una alumna nueva llegó a la clase de Yui. «Me llamo Maria. Vengo de Brasil. Encantada.»

Maria era tranquila y no hablaba mucho. Y al mediodía también comía siempre sola.

En la clase de inglés, Maria dibujaba en su cuaderno. El profesor se detuvo delante del pupitre de Maria. En el cuaderno había un dibujo de la cara del profesor. Toda la clase miraba al profesor.

«¿Este soy yo?» «Sí… Perdón.» El profesor miró el dibujo con atención y dijo: «¡Dibujas muy bien! ¿Por qué no dibujas también las caras de toda la clase?»

Ese mediodía, todos hacían fila delante del pupitre de Maria. El almuerzo de Maria fue muy animado.

Historia 10: El autobús que va al mar

A Ken no le gusta el dentista. Hoy toma el autobús para ir al dentista. Pero no es el autobús correcto. Ken está jugando a un juego en su teléfono.

«Próxima parada: fin del trayecto.» Ken mira por la ventanilla. «…¿El mar?»

Ken se baja del autobús y se queda frente al mar. El mar es azul y muy bonito. El viento también es fresco. Ken saca una foto y se la manda a su madre.

Enseguida llega un mensaje de su madre. «¿Y el dentista?» «…Lo dejo para mañana.»

Historia 11: ¿Dónde está Pochi?

«¡Pochi! ¡Pochi!» Yui llama a Pochi, el perro, en el jardín. Pero Pochi no está.

Papá y mamá también vienen, y todos lo buscan. La abuela, que vive con ellos, ha salido de compras. Papá va al parque, y Sora mira debajo de la cama. Mamá dice: «Sora, Pochi es grande, así que ahí no está.» Sora está llorando.

Al atardecer, la abuela vuelve de las compras. «¡Ya estoy en casa!» ¡Detrás de la abuela está Pochi! «Pochi vino conmigo hasta el supermercado y me esperó delante de la tienda.»

Esa noche, Sora duerme junto a Pochi.

Historia 12: En el cine

El domingo, Ken y Emma fueron a ver una película. En el cine, Ken compró dos entradas para una película de miedo. «Ken, ¿aguantas bien las películas de miedo?» «Sin problema. ¡Me encantan!»

Dentro del cine, todo estaba oscuro y en silencio. En una parte de miedo, Emma miró a Ken, que estaba a su lado. Ken tenía los ojos cerrados. «Ken, abre los ojos.» «¡Los tengo abiertos!» Pero, de principio a fin, Ken no abrió los ojos.

Después de la película, Ken dijo en voz alta: «¡Qué buena película!, ¿verdad?» «Sí. Ken, ¿qué parte te gustó?» «…¿Y si vamos a verla otra vez la próxima semana?»

Historia 13: El gato de nieve

Hoy nieva desde la mañana. La nieve es peligrosa para Hinoko, así que no sale.

Shiro juega afuera. Hinoko mira afuera por la ventana. «Shiro, ¿dónde estás?»

En la nieve blanca hay dos ojos. Son los ojos de Shiro.

Delante de la ventana, Shiro hace un gatito de nieve y se lo muestra a Hinoko. «¡Qué bonito! ¡Es igual que tú!»

Luego, Shiro entra en la casa. Las patas de Shiro están muy frías. Hinoko se las calienta.

«¿Metemos también al gato de nieve? Afuera hace frío.» «¡No! Aquí hace calor.»

Historia 14: El mismo paraguas

Llovía desde la mañana. Emma compró un paraguas en un konbini y fue a una cafetería. Antes de entrar, dejó el paraguas en la entrada. Dentro, se tomó un café y leyó un libro.

Al salir, en la entrada había muchos paraguas iguales. Emma tomó un paraguas que estaba cerca. Ya en casa, Emma miró bien ese paraguas. En el paraguas había un dibujo de un gatito. No era el paraguas de Emma.

A la mañana siguiente, Emma fue a la cafetería con ese paraguas. Delante de la cafetería esperaba una estudiante de secundaria. «¡Ese es mi paraguas! ¿Y este es el suyo?» «Sí… creo que sí.» «Los paraguas de konbini son todos iguales, así que es mejor que tenga un dibujo.»

Después de eso, las dos se hicieron amigas. Ahora, el paraguas de Emma también tiene un gatito dibujado por su amiga.

Historia 15: El lápiz corto

Hoy hay examen de inglés. Antes del examen, Ken abre su mochila. ¡No hay lápices! «Olvidé los lápices en casa…»

Yui, que se sienta a su lado, le presta a Ken un lápiz muy corto. «La próxima vez, mejor no te olvides.»

Durante el examen, Ken mira el lápiz. En el lápiz hay unas palabras. «¡Ánimo!» Ken se anima.

Después del examen, Ken le devuelve el lápiz a Yui. Y a la mañana siguiente, también le da un lápiz largo nuevo. En el lápiz largo también hay unas palabras de Ken. «Gracias. La próxima vez no me olvidaré.»

Yui todavía no ha usado ese lápiz. Ese lápiz sigue igual de largo.